

つれづれの郷



第109号 発行人 社会福祉法人上磯康啓会 理事長 小松 格一
 平成 27年 9月 1日 所在地 北斗市追分7丁目11番21号
 TEL 48-1777 Fax 49-7337 メール k-turedure1@wing.ocn.ne.jp
 ホームページ <http://www.turedurenosato.sakura.ne.jp/>

今年で十回目のつれづれの郷夏まつり。

八月一日、雨模様が心配でヤキモキしながら朝を迎えましたが、好天に恵まれ恒例の「夏まつり」が開催されました。「祭り」と言えば、焼き鳥・焼きそば・たこ焼き・かき氷・・・食欲を誘う香りが漂う中、ご当地アイドル“ドリーム・ラバー”の皆さんによる歌と踊り、北斗浜分小学校和太鼓有志による迫力とテンポの良い演奏に、入

夏祭り盛會

居者の皆さんも、祭りに駆けつけてくださった皆さんも、手拍子などでリズムを取ったりしながら楽しんでました。祭りの後半大抽選会「関連企業の皆様から様々な協賛品」抽選番号の



ながら楽しんでました。祭りの後半大抽選会「関連企業の皆様から様々な協賛品」抽選番号の

○夏祭りご協賛ありがとうございました

- 道南石油様 北陸銀行様 北海カーペットク
- リーニング様 海渡産業様 高木組様 北興通
- 信様 日晃清掃様 近藤商会様 (株)ワタ
- キューセイモア様 田中遼風園様 (株)国洋
- 様 (株)函館トヨタ昭和店様 田辺商事様 宇
- 佐美石油様 前川石油様 福田博様 菊池茂様

宮木雅美様 高橋慎一様

○ボランティアありがとうございました

- ボランティアサークルせせらぎ様 大野豊業高
- 等学校様 函館水産高等学校様 市立浜分中学
- 校様 株口総様、北陸銀行様 北斗浜分入鼓
- 様 ドリーム・ラバー様



発表ごとに、皆さん、一喜一憂。大歓声で祭りが盛り上がり、「祭りの盛り上がり」が入居者の皆さんに元気を与えてくださいました。祭りの運営にボランティアで参加いただいた学校関係者、地域ボランティア団体の皆様、企業の皆様、更には、たくさんの方々が提供してくださりました各企業の皆様ありがとうございました。

おねがい・お知らせ

- ◎9月15日(火)は、サービス費自己負担分の郵便口座自動払い込み日になります。お客様の口座残高をご確認下さい。
- ◎個人預かり金残高を、来所の折にご確認下さい。なお、毎月、預かり金使用済みの領収書を送っています。ご確認下さい。
- ◎未使用で不要なシーツがございましたら、ご寄付ください。
- ◎新たに持参される衣類には、必ず記名をお願いします。

インフルエンザ、ノロウイルス、

0157引き続き警戒中です。

感染はお年寄りの命にかかわります。入館時の手指の消毒・うがいを厳守下さい。生ものの持ち込みは禁止します。体調の優れない方は面会をご遠慮下さい。 施設長

◇ご意見ください◇

「ご意見箱は一・二階の公衆電話横に設置しています。苦情は左記へご連絡下さい

お客様相談窓口 絵面岳夫
 でんわ 48・1777
 FAX 49・7337
 メールでも受付いたします。
 k-turedure1@wing.ocn.ne.jp

デイサービスつれづれ



デイサービスでつれづれの郷利用者の皆さんが、今年もつれづれの郷の「夏まつり」に参加していただきました。

まつりに参加していただきました。家族の方と一緒に参加された方もたくさんいらっしゃいました。さっそく「屋口のおでん・焼きそば、やき鳥」をそれぞれが好物を選び、「暑い、こまかい」と頬ばりながら、若者の「歌と踊り」「和太鼓」と祭りの華やかさを堪能していました。

祭りの締めくくりは、大抽選会です。抽選に当たった皆さんは、「つれづれ」の「おまかせ品選」に迷った場面も。



屋口に、歌に踊り、大抽選会と今年も、好天に恵まれて、盛大で楽しいお祭りの一時を皆さん満喫されました。是非、来年も、つれづれの郷の「夏まつり」に参加してくださいませ。

見学研修受入

8月4日(火)、松前町の特別養護老人ホーム「南殿荘」の職員の皆さんが研修の一環で当施設を見学のため訪問しました。各ユニット施設やお風呂場、機能訓練施設、ナースステーションなどを視察し、食事・入浴・夜間の対応や、洗濯物・汚物廃棄物などの扱いなどについて熱心に質問していただきました。視察後は、研修室で具体的な業務の意見交換を行うことができました。当施設としても大変勉強になりました。



ご寄付ありがとうございました

北斗市 福田悟様 白石武弘様
澤田みさ様 古川玲子様 守山章様
池田晴男様 八重森節子様
岩坪司様 佐藤光昭様
松前町 特別養護老人ホーム南殿荘様

函館市 株国洋様 佐藤栄子様

ボランティア

ありがとうございます
石川幸子様

職員研修



8月21日(金)、信州大学・慶心義塾大学医学部付属病院に精神科医として在籍の小松友香先生を講師にお招きし、「認知症高齢者への見守り、タクティルケアの実践を通して」と題して基調講演を開催しました。

高齢化に伴い発症する認知症、「認知症だからと家族が諦めないで向き合う」ことが大切。認知症から来る反抗的な行動など様々なシグナルに、どう対応すべきか? 機械的な応対ではなく、「その人の思いをくみ取ってあげる」気持ちのこもった接し方が必要。穏やかに過ごすためにはコミュニケーションが大切。今、コミュニケーションに重点を置いた「タクティルケア」と呼ばれる、タッチケアに活用している実例・効果を紹介しながら、言葉が伝わらない、或いは、理解してもらえない認知症高齢者に対し、普段、お世話する介護職場でのケアの実践・心構えなど、今回の講演で改めて考え直す機会を与えてくださいました。貴重なお話をいただきましたことに感謝を申し上げます。

※「タクティルケア」＝認知症患者などへの周辺症状の緩和や痛み、不安を和らげる効果があると言われ、医療・介護現場で注目されている。

9月の行事

11日 敬老会
17日 第2回役員会
21~24日 理美容室
機能訓練は、つれづれの郷は午前北斗は午後実施
クラブ活動は、毎火・金曜日午後
嘱託医は毎週木曜日午後回診
歯科は随時

9月のおすすめメニュー

9月11日(金) 昼食

赤飯
紅鮭
寿卵焼き
煮物
すまし汁

ご家族も一緒にどうぞ

1日の食事摂取総カロリー
1612キロカロリー

あとがき

「日にち薬」という言葉を聞いたことがありますか? 治療をしなくても、少し時が経てば病気が自然に治るという意味があるそうです。「病は気から」と言いますが、気持ちが晴れると元気が出るものです。

今年も、お盆の時期に多くのご家族や知人の方々が入居者の皆さんを見舞ってくださいました。入居者の兄さんと姉さんが訪問しましたが、姉さんのことを忘れてしまい、兄さんが「生懸命一姉さんだよ」と教えても、中々伝わらない。久しぶりの兄弟との再会、何とも微笑ましい瞬間でした。入居者の妹さんは、兄さん姉さんから元気をいっぱいいただいたようでした。(兼)

*掲載記事写真等は社会福祉法人上磯康啓会に所属しています。無断転用を禁じます。